

令和4年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立多文化交流センター
指定管理者	公益財団法人箕面市国際交流協会
指定期間	2018年度（平成30年度）～2022年度（令和4年度）
施設概要	箕面市立多文化交流センター
市支出額	61,717,700円

2. 事業の実施状況

①センター利用に関すること	
市民の平等利用の確保	3か月前の事前予約、抽選制
利用者への周知・サービスの向上	ウェブHPの開設、パンフレット及びセンターニュースの発行、フェイスブックでの発信
利用者等への安全対策	防災訓練、避難訓練の実施
職員研修	接遇研修、人権研修等外部講座への職員参加
②施設・付属設備の維持管理に関すること	
付属設備の保守点検に関する業務	建物総合管理業務委託（イーチ合同会社）
備品に関する業務	備品台帳による管理
修繕に関する業務	施設の不具合箇所の修繕を各施工業者へ依頼
日常清掃及び定期清掃に関する業務	建物総合管理業務委託（イーチ合同会社）
環境保全に関する業務	消費電力の削減をめざしたデマンド方式での契約
③事業の実施に関すること	
地域国際化活動推進事業	別紙「事業報告書」のとおり
多文化共生社会推進事業	同上
情報収集・発信事業	同上
施設管理・運営事業	同上

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	アンケート実施期間：2023年6月13日～2023年7月9日（計27日間） アンケート配布209件、回収147件（回収率70.3%） 内容：今年も多言語（4言語）でのアンケートを実施しました。結果を(1)全体、(2)日本語、(3)多言語に分けて作成しました。全体的には、例年と同様に、施設の清潔さ、使いやすさ、雰囲気の良い、イベントの多さに対して好印象を持つ利用者が多かったですが、駐車場の使いづらさを指摘する声もありました。また、新型コロナウイルスのまん延防止措置などの制限解除に伴い、イベント開催に関するご要望もいただきました。引き続き、課題を分析し、皆さまにとって利用しやすいセンターの管理・運営に務めてまいります。
------------	---

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	意見交換会の開催日：2023年8月10日（木）10時30分～12時 参加者：16名 概要：2022年度の施設利用者・施設利用状況や2023年度のアンケートの実施結果の概要の説明及びセンター発行紙等の配布後、意見交換を実施しました。市民団体からは、「講座室のパネルが開けづらい」「ホワイトボードの文字が消しづらい」という意見がありました。また、「小野原西バス停からの道案内を作してほしい」「コムカフェをもっと利用しやすいように会員割引がほしい」「メイプル文化財団の映画チケットを販売してほしい」などの要望もいただきました。
------------	--

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	アンケート調査は6月13日～7月9日の間に実施しました。4言語（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語）で合計147件（日本語119件、日本語以外の言語28件）のアンケートが集まりました。センター事業の関係者については、年4回、グループコーディネーターを開催し、事業運営についてさまざまな意見交換をおこない、指摘や要望を受けた事柄についてはできる限り改善をはかっています。
-----------	--

4. 収支状況

別紙「収支計算書」のとおり

5. 指定管理者の自己評価

指定管理第2期の5年目、安定した事業及び施設運営を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に気を付けながら、徐々に対面形式での事業を増やしてきました。2023年2月23日には市の文化芸術劇場で「設立30周年記念式典」を開催し、400人以上の参加のもと、記念シンポジウムも開催しました。  
センターの稼働率については、2022年度は48.5%まで回復しました。カフェのランチの平均食数も30.8食と、ほぼコロナ前の水準に戻っています。外国人市民を対象とした相談件数は、2021年度2,432件、2022年度2,886件と、外国人市民人口の増加に伴い一貫して増加傾向にあります。  
2023年3月末に新たに開業する「箕面船場阪大前」駅エントランスに新設される「箕面市立市民ギャラリー」の指定管理を受ける予定であることから、新たな相談や日本語活動の拠点づくりも視野に入れつつ、多文化交流センターで実施する事業についても、より効果的な運営をめざしていきたいと思っております。